



2015年4月 統一地方選挙に挑戦 中村みほこから村上洋子へバトンタッチ

若葉台 i プラザ前で政策を訴える
村上洋子



稲城・生活者ネットワークは設立24年を迎えます。

4月の統一地方選挙では、3期12年務めた現職の中村みほこから、新人・村上洋子へとバトンを渡していきます。これまでもローテーションしていくことで、議員を職業化・特権化せず、おおせいの人が関わることで、政治を市民に身近なものにしてきました。

議員に「お願い」、行政に「お任せ」ではなく、大事な政治的課題は市民が解決していく。そのために必要な市民の議席が生活者ネットワークの議席です。

市民の視点、子ども・若者の目線、障がい者・高齢者の視線で調査活動を重ねてきました。居場所づくりや子育て・介護の社会化、障がい者の地域生活の充実など、一人ひとりの人権が尊重され、命を真ん中においていた心の豊かさや生活重視の市民政策を実現するために、今日まで活動を続けてきました。そして、これからも生活者ネットワークは地域に根ざした地域政党として、市民の声を議会につないでいくために、生活者の視点で市民活動を実践してきた村上洋子にバトンを渡していきます。

市議会議員 中村みほこ

村上洋子の提案

**子育て・介護を一人にしない！
原発ゼロ！食もエネルギーも地産地消
若者が希望を持てる社会をつくる**

子育て・介護を一人にしない

- 介護と仕事が両立できる地域包括ケアシステムの構築
- 居場所の創出で高齢者、障がい者、介護者の社会参加を保障する
- 産前からの相談体制の充実と仲間づくりを支援する
- 多様な子育て支援・親支援の創出
- 子育て支援や介護支援に地域のマンパワーを活用

子どもの笑顔を地域で守る

- 子ども施策に「子どもの権利」の視点を持ち虐待や子どもの貧困をなくし、子どもの育ちを保障する
- 18歳までの子どもの、各年齢に応じた子ども自信からの相談機能を充実
- 学校以外にも安心できる子どもの居場所をつくる
- いつでも学び直しができる機会を保障する
- 課題をかかえた子どもと家庭を支援するスクール・ソーシャルワーカーの導入

若者が希望を持てる社会をつくる

- 義務教育に社会保障や働く人の権利についての学習を必ず盛り込む
- 自立に役立つ暮らしや経済の基礎知識を授業にとり入れる
- 生きづらさや困難を抱えた若者が相談しやすいシステムやスキルアップの場、若者を正規雇用する地元企業への優遇策をつくる

こころとからだの健康をまもる！

- 精神保健福祉の体制を充実し、訪問型支援（アウトリーチ）で地域での自立生活を包括的に支援する
- 子どももおとなも「いじめ」によって心をむしばまれていく時代、薬に頼らず人との交流によって初期の精神疾患に対応する

食・農・いのちを育む

- 地産地消をすすめ、都市農業を守る
- コミュニティ・レストランで市民と農業をつなぐ

原発ゼロ！持続可能な社会をつくる

- 原発に代わるエネルギーを稲城はどうしていくか市民参加で考える
- 減災・防災対策に環境、弱者の視点を取り入れる
- 森 里山 公園 農地 緑地の保全是市民参加で
- 交通弱者の交通手段の確保
- 通勤・通学や公共施設を利用しやすい公共交通ネットワークの再編

大事なことは市民が決める

- 地域のなかに働きがいのある仕事を創出する
- 市民と行政が協働し、地域のマンパワーを有効に活用する。その財源を確保する



私はちょうど10年ほど前、お隣の調布市に住み三人の子どもを育てながら「調布市子ども条例」の策定に市民委員として参加しました。

困難をかかえた子どもたちを支える手立てとなればいい、子どもたちが自己肯定感を持ち生き活きと成長できる助けとなればいいという思いで参加しましたが、当時と比べ子どもたちを取り巻く環境は決して良くはありません。むしろ、子どもの貧困については急激に悪化しています。

2014年に国が発表した子どもの貧困率は16.3%、これは40人学級であったなら、クラスの6~7人が貧困であるということです。

その内訳をみると、母親が主たる働き手であるひとり親家庭の締める割合が多く、働いていても賃金が少ないためのワーキングプアが多いのです。

生活保護の受給率は国民の1.6%と他国に比べても低いのですが、これは働けない人を想定しているため、ワーキングプアのような状態からぬけだすために使おうとすると使いづらということもあります。

貧困率が特に高いといわれる、母親のひとり親家庭、子ども、若者にたいしてピンポイントですぐに支援をする必要があります。

また、広く就学や就職の機会均等、再チャレンジできる政策づくりも必要です。行政としてやろうと思えばできることはいろいろあります。

子どもの貧困問題やいじめの問題に困っている子どもを支えるという視点、また、子どもの生き活きとしたそだちを保障するという観点から「子どもの権利条例」の策定を市民のみならずと一緒を考えていきたいと思っています。

生活者ネットワークの3つのルール ★★★

★議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は最長3期12年で交代し、議員を職業化・特権化しません。ローテーション後は市民活動などに経験を生かします。

★議員報酬は市民の活動資金に お金の流れはすべて公開します。

★選挙はすべて手づくりで

選挙は市民のカンパとボランティアで行います。

